
すべて一滴の天気模様

一河善知鳥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

すべて一滴の天気模様

【Nコード】

N5106B

【作者名】

一河善知鳥

【あらすじ】

これでいいって、そう思えるのは自分ひとりではなかなか難しい。これでいいって、そう思えるのは二人なら案外簡単。落ちたら落ちた。また時間をかけてでも拾えばこれでいい。

「墮落。欠落…あ、奈落…」

「なにそれ、どういうこと?」

「陥落、脱落、段落、低落、滑落、暴落…。はは、だめじゃん」

「超ネガティブ…外の雨みたい」

「雨、雨が落ちる。…さしずめ俺は今あの窓にぴつとぶつかった小さな一滴だな」

「……うん、そーかもね」

「それにしても、落ちるって、何でこーう嫌なイメージなんだろう」

「知らないよ」

「だって、上と下なら下のほうが陰湿なイメージだもん」

「…まあ…」

「でもあれだよなあ、落ちるって言葉が下にいくって解釈がよくねえよなあ。だってほら、それって重力のある地球上の話でさ…」

「…あんた、宇宙に行きたいの?」

「…じゃあ、まあ、飯にすっかー」

「はあ？」

「お、今日はサカナか！」

「ししゃも」

「…あ、落ちた」

「あー、もう、もったいないなあ。ちゃんと拾っておいてよね？」

「あ、落ちた…って落ちたよ。落ちちゃったよ、これ」

「そう。落ちたよ。だから拾って！」

「そりゃ拾うけど、落ちる……あー、そっか。ティッシュどこ？」

「……ねえ」

「何…？」

「どうしたの？」

「ししゃもを落とした。…それだけだけど」

「じゃなくて、今日、変だよ。すっごく変！ 大学に落ちた受験生みたいにナーバスじゃん！」

「……君が怒るから言いません」

「言いなさいって」

「嫌です」

「言ったらすっきりするよ?」

「僕、会社、辞めました」

「どこの?」

「…あつちの…」

「あんたの行ってた?」

「…そうです」

「なんで?」

「嫌で」

「それで、どう?」

「すつごく、開放感」

「なら、いいんだ。別に」

「はあ?」

「え。なによ、それ」

「心配、しないわけ」

「うん。てか、なにを？ 辞めたいなら辞めたらいいの！ それ
君にとっていいことなんでしょう？」

「そうだけど…いや、そっか」

「ていうかね、なんとなくそうなるなーって思ってたの。それも、
同棲が決まったところからね」

「まじで」

「だから、見てよ、これ。半年はヨユーよ？」

「食卓から通帳？」

「いつもテーブルクロスに隠してるのさ、金庫とかタンスとかあり
がちだから狙われやすいし」

「でも、なんだ俺、全然期待されてねえのか」

「うん、全然期待してないよ。名も知れぬ大学でたサラリーマンの
収入なんか頼れません！ まあ、でも、…今までお疲れ様でした」

「うん。明日から何しようか」

「どっか大きい公園行こ。お弁当持ってさ」

「はは、それはいいかもね」

「…明日は晴れるよ、ね？」

「もちろん」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5106b/>

すべて一滴の天気模様

2011年1月27日06時37分発行